



①草間彌生氏近影 ©YAYOI KUSAMA

蔵出しコレクション

草間彌生

+アメリカに渡ったアーティストたち

会期 2020年2月8日(土)~4月12日(日)

開場式・内覧会 2月7日(金) 14:00~

近年、カボチャの野外彫刻や、色鮮やかな連作絵画を発表し、幅広い世代に注目されるアーティスト、**草間彌生**(くさま・やよい 1929年生まれ)。

新潟市美術館は、国内美術館では最初期の回顧展「**草間彌生** はじける宇宙」(1992年)や、近新作による個展「**草間彌生** 永遠の永遠の永遠」(2012年)により、その作品世界を大規模に紹介してきました。また、繊細な色彩が静かに滲み出してくるような初期パステル画《線香花火》(1952年)や、幅 8.4m、高さ 3.2mの大作《流星》(1992年)といった貴重な作例の収集も進めてきました。中でも、南魚沼市出身の版画刷り師、木村希八と共に取り組んだエッチング 59 点は、鉄筆で刻み付けた生々しい線描で自伝的テーマを表現し、他の素材・技法にはない「知られざる**草間**」を味わえる作品群です。

本展覧会は当館が所蔵する**草間**作品全 85 点を、初めて一挙公開し、「**クサマ・ワールド**」の多岐に渡る魅力をご覧ください。

併せて、**草間**が 1958-73 年ニューヨークを拠点に創作の幅を広げ国際的な評価を得たことにちなみ、滞在中に親交を深めたジョゼフ・コーネル、**草間**と同じく、アメリカに渡って転機を迎えた鬚嘔(あいおう)、荒川修作(あらかわ・しゅうさく)、篠原有司男(しのはら・うしお)らの表現を収蔵品よりご紹介します。

■ 作品図版

以下、すべて新潟市美術館蔵

- ★本リリースに掲載の画像①～⑥は、本展をご紹介いただける場合に限り、データ提供が可能です。
- ★作品画像のトリミング、文字載せはできません。
- ★作品画像を使用する場合、著作権者へのデータ確認が必要です。ゆとりをもってお申込みください。
- ★完成物は、3部ご恵与ください。



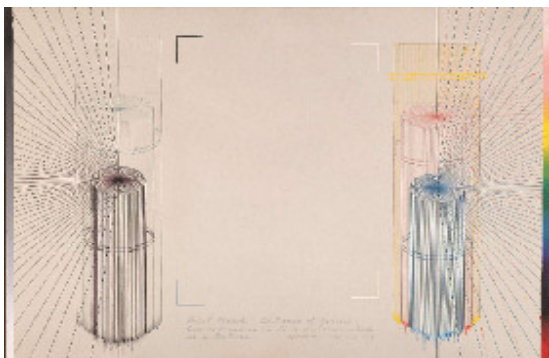
②草間彌生《南瓜(黄)》1984年、リトグラフ



③草間彌生と《流星》1992年、ミクストメディア
(1992年、上野則宏氏撮影)

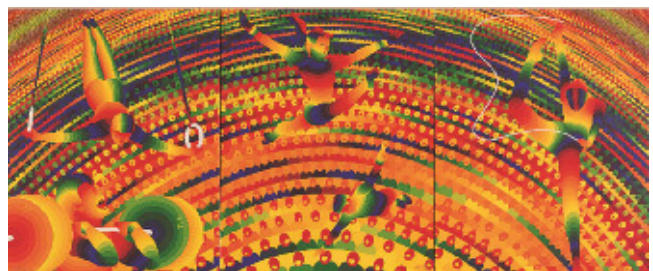


④草間彌生《自画像》1995年
エッチング



⑤荒川修作《Du But en Blanc》
1977-78年、油彩・鉛筆、カンバス

© 2019 Estate of Madeline Gins. Reproduced
with permission of the Estate of Madeline Gins.



⑥巖嘔《オリンピック》1991年、油彩、カンバス

■ 展示の構成

第1部-1 草間彌生 所蔵品全点公開 計 85 点

- ・コラージュ 1 点
- ・パステル 1 点
- ・立体作品 9 点 (うち大型 2 点)
- ・版画作品 74 点 (エッチング 59 点、リトグラフ 15 点)

第1部-2 草間彌生と交流したアーティスト

- ・ジョゼフ・コーネル(1903～72)：1964～72年草間と親しく交流。
- ・木村希八(きむら・きはち 1934～2014)：南魚沼市出身。1984～95年、草間版画の摺りを担当。

第2部 アメリカに渡ったアーティストたち

- ・鬚嘔(あいおう 1931～)：茨城県出身。1958～2008年ニューヨークを拠点に活動。
- ・荒川修作(あらかわ・しゅうさく 1936～2010)：名古屋市出身。1961年～ニューヨークを拠点に活動。
- ・篠原有司男(しのはら・うしお 1932～)：東京都出身。1969年～ニューヨークを拠点に活動。

ほか

■ 草間彌生 略年譜

- 1929年 長野県松本市生まれ。
- 1935年 この頃から、「水玉」や「網目」といった自らの幻覚症状に由来する絵画を描き始める。
- 1948年 京都市立美術工芸学校4年生に編入。日本画を学ぶ。
- 1952年 初個展(松本市第一体育館)。信州大学教授の西丸四方が日本精神医学会で作品を紹介。
- 1954年 東京での初個展(白木屋、日本橋)。出品作が雑誌「みづゑ」5月号の表紙になる。
- 1957年 渡米。シアトルのゾーイ・ドゥザンヌ画廊で個展開催。
- 1958年 ニューヨークに拠点を移す。翌59年、ニューヨーク初個展で、「無限の網」の大型絵画を発表。
- 1962年 この頃から、家具などに布製突起物を貼りつけたソフトスカルプチュアの制作を開始。
- 1967年 街頭などで、モデルたちと共に自ら「水玉模様」を身に纏うハプニングを展開。～69年頃。
- 1973年 帰国。75年～東京を拠点に活動。
- 1979年 初の版画作品《靴をはいて野にゆこう》を制作。
- 1987年 日本の公立美術館での初回顧展を、北九州市美術館で開催。
- 1992年 新潟市美術館と草月美術館で、回顧展「草間彌生 はじける宇宙」を開催。
- 1993年 イタリアのヴェネツィア・ビエンナーレに日本代表として出品。
- 1994年 香川県直島に初めての野外彫刻《南瓜》を設置。
- 2000年 芸術選奨文部大臣賞受賞。
- 2004年 森美術館にて個展「クサマトリックス」開催。52万人を動員する。
- 2008年 映画「≡草間彌生 わたし大好き」(松本貴子監督作品)公開。
- 2012年 新潟市美術館ほかで、個展「草間彌生 永遠の永遠の永遠」開催。
- 2016年 文化勲章受章。
- 2017年 国立新美術館で、個展「草間彌生 わが永遠の魂」開催。

■ 展覧会概要

名 称	蔵出しコレクション 草間彌生 + アメリカに渡ったアーティストたち
主 催	新潟市美術館、BSN 新潟放送
会 場	新潟市美術館 企画展示室
会 期	2020年2月8日(土)～4月12日(日) 57日間
開館時間	2月8日(土)～3月31日(火) 午前9時30分～午後5時 4月1日(水)～4月12日(日) 午前9時30分～午後6時 (観覧券販売は閉館30分前まで)
休 館 日	月曜日(ただし2月24日(振・月)は開館)
観 覧 料	一般500円(400円)、大学生・高校生400円(300円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体、リピーター割引料金 ※前売券の販売はなし

■ 関連事業

- ・ **美術講座「草間彌生とニューヨーク」** 2020年2月15日(土) 14:00～15:30

講師：上池仁子(当館学芸員)

会場：講堂 申込み不要、聴講無料、定員100名(先着順)

- ・ **担当学芸員によるギャラリートーク** 2020年3月1日(日)、28日(土)各日 14:00～

申込み不要、要当日観覧券

- ・ **「蔵出しコレクション!の舞台裏ツアー」** 2020年3月20日(金・祝)

大作《流星》の保管方法や、展示室の「動く壁」、バックヤードなど、普段非公開の美術館の舞台裏を案内。

午前の回 10:00～12:00 / 午後の回 14:00～16:00 各回同内容

講師：当館学芸員

対象：高校生以上、各回定員20名 事前申込み制、要当日観覧券

申込み方法：

12月1日以降に、右記のQRコード(新潟市役所「かんたん申込み」専用フォーム

<https://www.shinsei.elg-front.jp/niigata-City/uketsuke/dform.do?acs=butaiura>)より申込み。

または往復はがきに、①参加者全員の氏名(1通につき2名まで記入可)、②年齢か学年、③代表者の住所、④電話番号、⑤「午前」か「午後」、⑥「舞台裏」を記入し、美術館まで。



締め切り 2020年2月25日(火) 18:00 必着 (応募多数の場合は抽選)

問 合 せ

新潟市美術館 担当：上池仁子、星野立子

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9

Tel 025-223-1622 Fax 025-228-3051

URL <http://www.ncam.jp> museum@city.niigata.lg.jp

草間彌生プラス展

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書（FAX 専用）

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（2020年2月7日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、3部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望・チケットプレゼント希望・記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	2月7日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	